

A6180	キハ53-200番台 東日本 急行色	予価 :6,600円 (税別)
		JANコード:124505 カート内入数 24
A6182	キハ53-500番台 北海道 急行色	予価 :6,600円 (税別)
		JANコード:124529 カート内入数 24
A6183	キハ53-1000番台 西日本 急行色	予価 :6,600円 (税別)
		JANコード:124536 カート内入数 24

商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 単品プラケース入)		
実車	1987昭和62年、増結用としてキハ58を両運転台化改造して登場したのがキハ53-200番台です。東北地区に投入され、小牛田運輸区をベースに陸羽東線などで活躍した後、会津若松運輸区に転出して只見線で活躍を続けましたが、2000平成12年までに引退しました。1986昭和61年に北海道向けにキハ56を両運転台化改造して登場したのがキハ53-500番台です。積雪時の運行には排雪抵抗が大きく、従来のキハ22・キハ40では2両以上の連結が必要であり、2エンジンの両運転台車が投入されました。主に深名線や札沼線などで活躍していましたが、活躍する線区が廃止となったことや車両の老朽化が進行したことから、1996平成8年までに全車引退しました。1986昭和61年、急行列車の増結用としてキハ58を両運転台化改造して登場したのがキハ53-1000番台です。当初は七尾線で普通列車の増結用として使用されていましたが、七尾線電化に伴って富山に転出し、高山本線で使用されました。高山本線のキハ120化後には高岡鉄道部に転出し、氷見線・城端線のローカル輸送用として活躍しましたが、2006平成18年までに引退しました。		
商品概要	マイクロエース気動車シリーズの更なる充実 多くのリクエストにお応えして、両運転台のキハ53-200・500・1000番台をプラ完成品初の製品化 番台ごとの細かい違いを作り分け ジャンパホースを別部品で取り付け済 ヘッドライト、テールライト、前面行先表示窓点灯。LED使用。ON-OFFスイッチ付 フライホイール付動力ユニット搭載 両で走らせるので小型レイアウトにも好適		
	朱色とクリームの気動車急行色	 	特徴あるタイフォン形状を再現 ・単線用スノープロウ装備 ・JRマーク印刷済 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">キハ53-201(M)</div> ライト ライト JR東日本商品化許諾済
	A6180 キハ53-200番台 東日本 急行色	 	側面に縦の雨樋が付いた507番 複線用スノープロウ装備 ・JRマーク印刷済 ・キハ56と同様の小窓が並ぶ側面 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">キハ53-507(M)</div> ライト ライト JR北海道商品化許諾済
	A6182 キハ53-500番台 北海道 急行色	  	・暖地型タイフォンを再現 ・水切りが窓上に付いていない前面を再現 ・トイレなし、クーラー搭載 ・冷房用ジャンパホース装備 ・JRマーク印刷済 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">キハ53-1001(M)</div> ライト ライト JR西日本承認済
	A6183 キハ53-1000番台 西日本 急行色	オプション	幅広室内灯 :G0001/G0002/G0003/G0004 ,マイクロカプラー自連 黒 :F0003
	付属品	行先ステッカー	